

■ JIS規格番号およびJIS表示について

1. 配線用遮断器と漏電遮断器の適合JISの規格番号について

- 配線用遮断器と漏電遮断器のJISが、IEC規格体系を採用した5つの規格になりました。

JIS C 8370 配線用遮断器				JIS C 8371 漏電遮断器					
産業用				住宅用					
JIS C 8201-2-1 配線用遮断器		JIS C 8201-2-2 漏電遮断器		JIS C 8211 配線用遮断器		JIS C 8221 漏電遮断器(OCなし)		JIS C 8222 漏電遮断器(OC付)	
附属書1 (Ann1) IEC工事 対応	附属書2 (Ann2) 在来工事 対応	附属書1 (Ann1) IEC工事 対応	附属書2 (Ann2) 在来工事 対応	附属書1 (Ann1) IEC工事 対応	附属書2 (Ann2) 在来工事 対応	附属書1 (Ann1) IEC工事 対応	附属書2 (Ann2) 在来工事 対応	附属書1 (Ann1) IEC工事 対応	附属書2 (Ann2) 在来工事 対応

- IEC規格においては、「産業用」は、熟練者や技能者が操作することを前提とし、「住宅用」は、一般の方が操作することを前提としています。

- 現在の日本の電気設備規定は、「IEC工事規定(JIS C 0364シリーズの規格など)」と「在来工事規定(内線規程など)」の2本立てになっています。附属書1および2は、それぞれの工事規定に対応した規格になっています。

附属書1(Ann1) IEC工事対応	■ IEC工事とは、IEC規格に整合したJIS C 0364シリーズの工事規定に基づく低圧電路の工事方法で、同一電気使用場所では在来工事との混用はできないことになっています。 (電技解釈第272条に規定)
附属書2(Ann2) 在来工事対応	■ 在来工事とは、従来から日本で行ってきた工事方法(電技解釈第3条から第271条に規定)で内線規程も含まれます。在来工事では、産業用と住宅用の使い分けの規定がありませんので、産業用と住宅用の区別なくどの用途でも使用できます。ただし、仕様書などでJIS規格番号が指定されている場合はそれに従ってください。 (例:公共建築工事標準仕様書)

テンパールの配線用遮断器/漏電遮断器は、附属書2(Ann2)に適合しますので、従来どおり在来工事(内線規程に基づく工事)にご使用いただけます。

2. JISマーク表示制度改正に伴う表示の変更について

- 従来、漏電遮断器に表示していたJISマークは、平成16年6月9日に工業標準化法が改正され、経過措置期間が終了する平成20年10月1日以降の生産分から表示できなくなりました。
- テンパールの配線用遮断器/漏電遮断器は、適合するJIS規格番号を銘板に表記するとともに、JIS Q 1000に基づき自己適合宣言をいたします。

自己適合宣言書		
No.200801		
この文書はJIS Q 1000に基づき作成された自己適合宣言書である。		
発行者の名称： テンパール工業株式会社		
発行者の住所： 広島県広島市南区大州3丁目1番42号		
宣言の対象： 配線用遮断器		
上記の宣言の対象は、次のJISの要求事項に適合している：		
JIS番号	規格名称	発効年月日
JIS C 8201-2-1	低圧開閉装置及び制御装置—第2-1部：回路遮断器(配線用遮断器及びその他の遮断器)	2004年12月20日 制定
JIS C 8211	住宅及び類似設備用配線用遮断器	2004年12月20日 制定
問合せ先： テンパール工業株式会社 品質保証室 TEL： 082-508-0695		
2008年4月1日 テンパール工業株式会社 品質保証室長		

自己適合宣言書		
No.200802		
この文書はJIS Q 1000に基づき作成された自己適合宣言書である。		
発行者の名称： テンパール工業株式会社		
発行者の住所： 広島県広島市南区大州3丁目1番42号		
宣言の対象： 漏電遮断器		
上記の宣言の対象は、次のJISの要求事項に適合している：		
JIS番号	規格名称	発効年月日
JIS C 8201-2-2	低圧開閉装置及び制御装置—第2-2部：漏電遮断器	2004年12月20日 制定
JIS C 8221	住宅及び類似設備用漏電遮断器—過電流保護装置なし(RCCBs)	2004年12月20日 制定
JIS C 8222	住宅及び類似設備用漏電遮断器—過電流保護装置付き(RCBOs)	2004年12月20日 制定
問合せ先： テンパール工業株式会社 品質保証室 TEL： 082-508-0695		
2008年4月1日 テンパール工業株式会社 品質保証室長		